

精神医療の「共同意思決定」

“本人のことを本人のいないところで決めない”精神医療とは

日時：2019年10月22日（火・祝）12：30～16：30

会場：九州産業大学 3号館3階3306教室

【プログラム】

12:30～12:40 開会のごあいさつ

12:40～13:30 《第1部》「リカバリー志向のSDM支援ツールSHAREとはなにか？」

岡本和子・黒木紀子・二宮史織・藤田英親

(国分寺すずかけ心療クリニック/SHARE普及推進委員会)

13:30～13:50 休憩 ☆SHAREに触れる体験コーナーを設置します

13:50～15:10 《第2部》対話集会『本人のことを本人のいないところで決めない「精神医療」とは』①

テーマ：診察室は利用者にとってどんな場か

●ピア：磯田重行・青木裕史（リカバリーセンターくるめ）、佐藤由美子（SHARE普及推進委員会）

〔聞き手〕相川章子（聖学院大学）

●医師：内野俊郎（久留米大学医学部神経精神医学講座）、渡邊真里子（ちはやACTクリニック）、坂田増弘（国立精神・神経センター病院/SHARE普及推進委員会）、藤田英親

〔聞き手〕伊藤順一郎（メンタルヘルス診療所しっぽふぁーれ/SHARE普及推進委員会）

15:10～15:20 休憩

15:20～16:20 《第3部》対話集会『本人のことを本人のいないところで決めない「精神医療」とは』②

テーマ：精神医療の中でのピアの位置づけ

16:20～16:30 まとめ・閉会ごあいさつ



共同意思決定の
支援ツール「SHARE」の
体験ブースもあります！



主催：SHARE 普及推進委員会

認定 NPO 法人地域精神保健福祉機構・コンポ

ACT 全国ネットワーク

協力：国分寺すずかけ心療クリニック・株式会社アクセライト



本人の希望やリカバリーを応援する
精神科診療の共同意思決定支援システム

SHARE



主治医に自分の希望や望みを話せていますか？
診察で相談したいことが話せていますか？

共同意思決定 (SDM; Shared Decision Making)とは、治療を受けるご本人と主治医が、お互いの意見を交換し、相互に責任を分かち合いながら、一緒に今後の方針を決めていくプロセスのことです。身体疾患と同様、精神科の診察でも、SDMの重要性が注目されています。

精神科の診察は、長い目で見たときにご本人の希望の実現やリカバリーの旅に役立つものであることが大切だと考えます。

SHAREは、そのような精神科診療を実現するために開発された、ご本人と主治医のSDMを支援するコンピューターシステムの愛称です。



SHAREの特徴 (1) 希望とリカバリーのノート

自分の希望やリカバリーにとって大切なことをコンピューターに入力し、主治医と共有することができます。

SHAREの特徴 (2) 診察準備ツール

最近の生活の工夫、体調、相談したいことなどを、診察前にコンピューターに入力し、主治医に伝えられます。

SHAREの特徴 (3) ピアサポート

SHAREには研修を受けたピアサポーターがいるので、希望に応じて支援を受けることができます。

たとえば…

私の意思

生活や人生で大切にしたいこと、診察に望むこと、望まないこと

元気の鍵

自分でできる生活の工夫
調子を保つのに役立つこと

SHAREシート

今日のSHAREに合わせた

今日の診察における私の目標	
詳細の SHARE	
実施状況	

私の希望(リカバリー) ※: 変更あり

私の意思	
私の元気の鍵	オンラインリハビリ
	きっかけ
	新薬
	クライス
リハビリプラン	ホリスティック

私の状態

今日の元気度	%	調子	%	調子	%	調子	%	調子	%	血液検査の実施日	

・寝れない
・食事が無い
・不安
・幻聴妄想
・住み場所
・住み方

☆今日の SHARE ☆

本人署名: _____ 医師の署名: _____

たとえば…

- ・話を聞いてもらいたいとき
- ・リカバリーについて知りたいとき
- ・主治医にどう相談したらよいかわからないとき
- ・入力を手伝ってほしいとき
- …など

※SHAREは、病院・クリニック、訪問看護ステーション、福祉事業所など、幅広い場所に導入することが期待されています。また、使用の際は、医師やピアサポーターへの研修が推奨されています。

詳しくは(株)アクセライトのSHARE特設サイトへ <https://share-sdm.accelight.jp/>

医療機関・支援機関がSHAREシステムを導入する意義

<システムの変革>

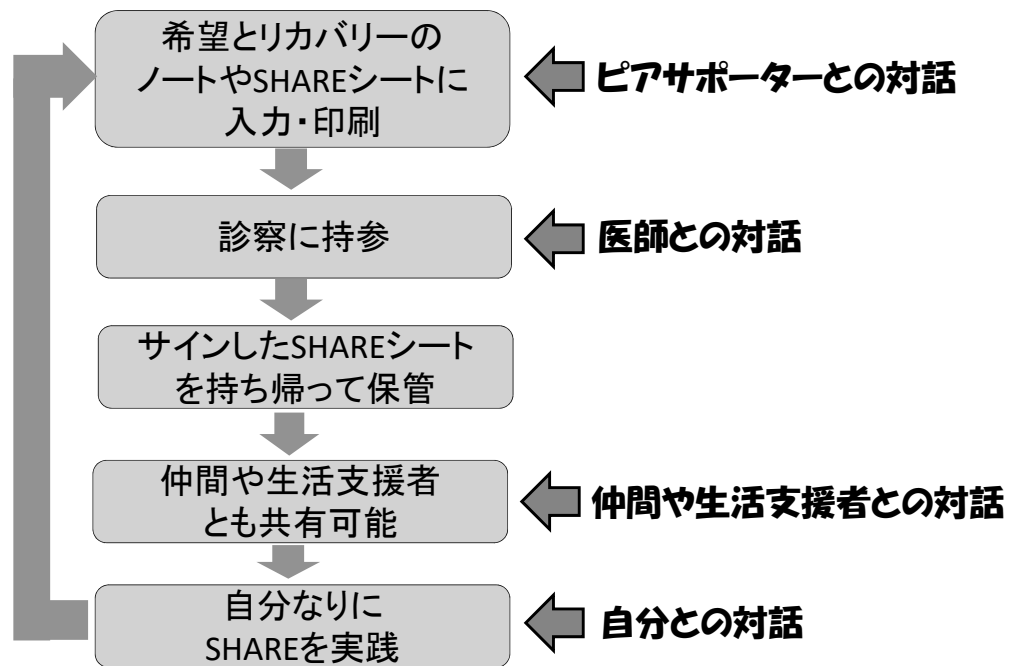
- ・主治医やご本人の個人差をこえて、ご本人の希望・リカバリーを中心にした診察がしやすくなります。
- ・SHAREのピアサポーターを職場に増やすことで、職場全体の意識がよりリカバリー志向になります。
- ・ピアスタッフの雇用拡大につながります。SHAREのピアサポーターとして最も力を発揮するのは、精神科のユーザー経験を持つピアスタッフです。

<コンピューターシステムの利点>

- ・面と向かっては伝えにくいことでも、パソコンに入力すれば、主治医に伝えやすくなります。
- ・「私の意思」と「元気の鍵」を更新したら、診察準備ツールにも自動的に反映されます。
- ・体調や困りごとのデータをシステム上に保存でき、変化をグラフ表示させることができます。

SHAREの 利用の流れ

SHAREは、精神科診察における対話によるSDMをサポートします



書き込み式SHAREの活用

ご自分が利用しているサービス機関がSHAREを導入していない場合、自分で同じような内容を書き込めるように作成された、「書き込み式のSHARE」を活用することができます。

活用例①

自分の考えを整理する

「書き込み式のSHARE」に添って記入することで、自分にとっての希望・リカバリーとはどんなことかや、診察で相談したいことなどについて、自分の考えをまとめることができます。

活用例②

仲間やピアサポーターと学び合う

「書き込み式のSHARE」を使って、仲間やピアサポーターと内容を共有したり、診察をめぐる苦労や工夫を分かち合うことで、つながりの中でさまざまなヒントを得ることができます。

活用例③

診察に持参する

「書き込み式のSHARE」に記入したものを、診察のときに持参することで、主治医に知っておいてほしいことや今日相談したいことを効果的に伝えることができます。

診療を担当されている精神科医の皆様へ



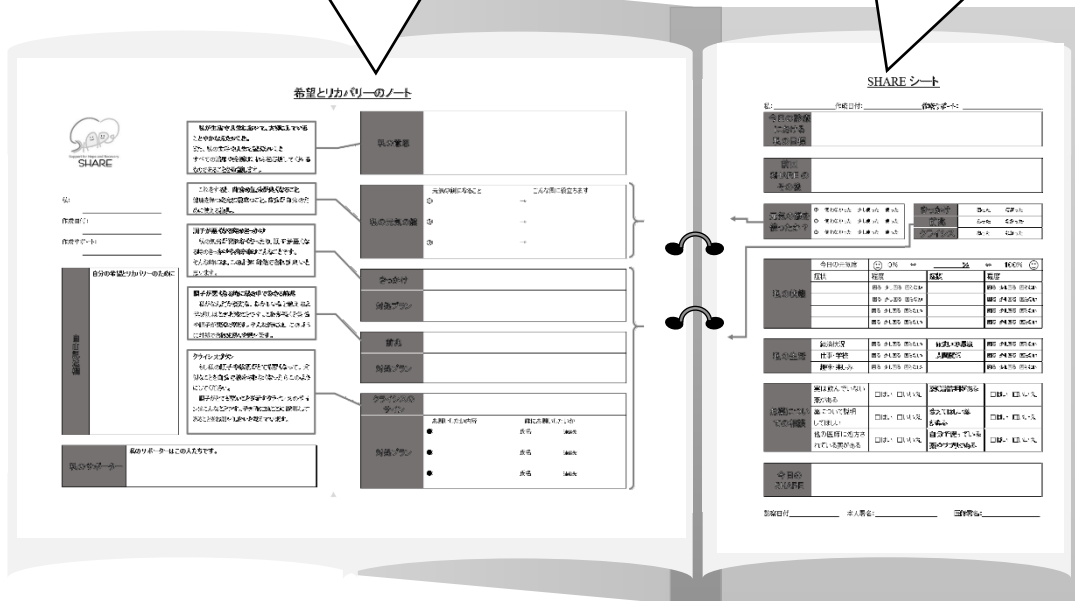
このファイルは、精神科診療において、リカバリー志向の共同意思決定を促進する目的で作成された SHARE と呼ばれるシステムです。診療にお役立ていただけます。

希望とリカバリーのノート

診療にあたって、知っておいて欲しいことなどが記入されています。

SHARE シート

今回の診察で話し合いたいこと、現在の状態などが記入されます。



今日の SHARE

毎回の診察において患者・医師間で合意した内容を、「今日の SHARE」の欄にご記入頂いて、二人で確認のサインをした上で、患者さんが持ち帰ることになっております。

希望とリカバリーのノート



私: _____

作成日付: _____

作成サポート: _____

自由記述欄

自分の希望とリカバリーのために

私が生活や人生において、大切にしていることやかなえたいこと、そして、私が生活や人生で望まないことについての意思表示です。
すべての治療や支援は、この意思を応援する目的でなされることを希望します。

私の意思	
------	--

これをすると、気分が良くなったり、健康を保つのに役立ったりします。元気でいるために、自分が自分のために使える道具です。

私の元気の鍵	元気の鍵になること	こんな風に役立ちます
	①	→
	②	→
	③	→

調子が悪くなる時のきっかけ
 私の気分が優れなくなったり、調子が悪くなる時のきっかけや出来事はこんなことです。そんな時には、このように対処できれば良いと思います。

きっかけ	
対処プラン	

調子が悪くなる時に私の中でおきる前兆
 私がなんだか変だな、おかしいなと思えるような兆しはこのようなことです。これが続くと気分や調子が悪くなります。そんな時には、このように対処できれば良いと思います。

前兆	
対処プラン	

クライシス
 もし私の調子や状況がとても悪くなって、大切なことを自分で決められなくなったらこのようにしてください。
 調子がとても悪いことを示すクライシスのサインはこんなことです。その時にはここに記載してあることをお願いしたいと考えています。

クライシスのサイン													
対処プラン	<table border="1"> <thead> <tr> <th>お願いしたい内容</th> <th colspan="2">誰にお願いしたいか</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●</td> <td>氏名</td> <td>連絡先</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>氏名</td> <td>連絡先</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>氏名</td> <td>連絡先</td> </tr> </tbody> </table>	お願いしたい内容	誰にお願いしたいか		●	氏名	連絡先	●	氏名	連絡先	●	氏名	連絡先
	お願いしたい内容	誰にお願いしたいか											
	●	氏名	連絡先										
●	氏名	連絡先											
●	氏名	連絡先											

私のサポーター	私のサポーターはこの人たちです。
---------	------------------

SHARE シート

私: _____ 作成日付: _____ 作成サポート: _____

今日の診療 における 私の目標	
-----------------------	--

前回 SHARE の その後	
----------------------	--

元気の鍵を 使ったか？	① 使わなかった 少し使った 使った
	② 使わなかった 少し使った 使った
	③ 使わなかった 少し使った 使った

きっかけ	あった	なかった
前兆	あった	なかった
クライシス	あった	なかった

私の状態	今日の元気度	☹️ 0% ⇄ _____ % ⇄ 100% 😊		
	症状	程度	症状	程度
		困る 少し困る 困らない		困る 少し困る 困らない
		困る 少し困る 困らない		困る 少し困る 困らない
		困る 少し困る 困らない		困る 少し困る 困らない

私の生活	経済状況	困る 少し困る 困らない	住まいの環境	困る 少し困る 困らない
	仕事・学校	困る 少し困る 困らない	人間関係	困る 少し困る 困らない
	趣味・楽しみ	困る 少し困る 困らない		困る 少し困る 困らない

お薬につい ての相談	実は飲んでいない薬がある	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	薬の副作用がある	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	薬について説明してほしい	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	変えてほしい薬がある	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	他の医師に処方されている薬がある	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	自分で使っている薬やサプリがある	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

今日の SHARE	
--------------	--

診察日付 _____ 本人署名: _____ 医師署名: _____